

# 久山中便り

久山中学校  
令和8年3月17日発行  
第82号

## 誇らしい卒業生2

### 卒業証書授与式

3月13日(金)。第79回卒業式にて、誇らしい卒業生たちを送り出すことができました。今回は、おうちの方や仲間への感謝を込めた卒業生の答辞の一部を紹介します。

何より今日まで、私たちを支え、温かく見守ってくださったお父さん、お母さん、おうちの皆さん、本当にありがとうございました。中学校生活を無事に終えることができたのは、私たちに寄り添い、応援してくださった皆さんのおかげです。思春期に入り、時には強く当たることもありましたが、そんな時でも変わらず接してくれたことが、私たちの何よりの心の支えとなり、大きな力になりました。これから先、また新たな道へと進んでいきます。まだまだ苦勞を掛けますがどうかいつでも暖かく見守ってください。

最後に、三年間共に過ごした仲間へ。気付けばもう卒業の日がやってきました。あつという間ですね。こうしてみんなでこの

日を迎えられたこと、本当にうれしく思います。だけど正直、今はみんなと別れるのがさみしくて、たまらない気持ちです。

元氣が出ない日や疲れて心が折れそうになっていた日も、みんなと顔を合わせれば、不安や辛さが笑顔にかき消されました。それくらい、みんなの存在は私にとって大きな支えでした。当たり前のように一緒にいた日は、決して当たり前ではなかったななんと、今になって気づいています。

これから、別々の道を歩んでいきます。でも、たとえどれだけ離れても、私たちは同じ空の下でつながっています。このことを忘れず、これから先も己を信じて自分の夢に向かって突き進んでください。みんなと出会えて、本当に良かったです。離れてもみんなのことをずっと忘れません。たくさんの思い出を、そして幸せな時間を一緒に過ごしてくれて、ありがとう。またいつか、みんなと笑い合える日を楽しみにしています。

私たちは、今日で、久山中学校を卒業して新たな道へと進んでいきます。途中には、私たちが出会ったことのない壁に当たることが



何度もあると思います。そんな時こそ、ここで学んだことを忘れず、一步一步地に足をつけ、力強く進んでいきます。

いかがですか。成長した中学生の熱い気持ちが伝わってきます。家族への感謝、仲間への友情の強さ、そして、未来への希望。

これこそが、心と体のバランスが取れた中学生の姿だといえます。

誇らしい久山中生たち、卒業おめでとう。

### 最後の合唱もすごかった

今回の卒業式のクライマックスは、合唱披露。曲は、「超えてゆけ」。

(歌詞)「超えてゆけ 重ねた時を

越えてゆけ そのさびしさを

めぐる風 背中を押したなら

心の連れてく場所へ」

この曲は、過去を大切にしつつ、それを乗り越えていこうとする強いメッセージが特徴です。そのメッセージを、心を込めて伝えようとする一人一人の表情が、心を動かします。歌う三年生も、指揮者も、先生方も、保護者の皆さんも、涙です。

参加していただいた方からも、「感動した」「こんな卒業式を見ることができてよかった」といった声を聞くことができました。

「地平線の先には素敵な明日が見える」  
たくましく成長することを願っています。